



最優秀賞 交雑牛の部 愛媛県/高月淳さん



最優秀賞 和牛の部 熊本県/藤原正博さん



JA全農畜産総合対策部 小林茂雄部長による主催者挨拶



「300頭飼養しており、今回は交雑牛6頭を出品しました。第36回に最優秀賞を受賞した時よりも良い仕上がりになったと思います」  
最優秀賞  
愛媛県 高月 淳さん

交雑牛の部



喜びのコメント  
いただきました!

和牛の部

「牛飼いは30年。最優秀賞をいただくのは初めてで、まさか受賞できるとは。導入時は290日齢・260kg台で若くて小ぶりでしたが、昨秋ぐらには体も出来上がってきました。特に肩、尻、腿のハリ具合は良かった。今後も安定した成績を出していければ、と思います」  
最優秀賞  
熊本県 藤原 正博さん

愛媛県の高月淳さんの出品牛。受賞理由について審査評では、「特に、肉の色沢・脂肪の質が極めて良く、BMS No.7で審査員満場一致の決定」と評された。高月さんは、「嬉しいです。余計な脂肪がつかないよう、育成期に草を意識して食べさせました」と笑顔で話した。

和牛の部  
最優秀賞に輝いた熊本県

第2部「和牛の部」には、13県から雌8頭、去勢85頭の出品があり、審査の結果、8頭が入賞。平均値は左記の通りとなっている。

- 枝肉重量(kg) 雌521.8/去勢534.4
- ロース芯面積(cm<sup>2</sup>) 雌72.5/去勢75.6
- バラの厚さ(cm) 雌8.6/去勢8.5
- 皮下脂肪の厚さ(cm) 雌3.5/去勢2.3

今回は、出品された全頭が肉質「4」等級以上と高い成績であった。また、最優秀賞は熊本県の藤原正博さんが出品した勝久号が受賞した。

受賞理由については「BMS No.12が15頭あった中、歩留基準値79・1と外観の良い枝肉であり、ロース芯面積が大きく、バラも厚く広背筋、僧帽筋も厚く充実。肉質も肉色・光沢・サシの形状も良い。最優秀賞に相応しい逸品」と講評された。

当日の褒賞式に参加できなかった藤原さんに電話にて受賞の気持ちをうかがうと、「県内にも優秀な生産者が多いため、一度はチャンピオンになってみたいかったです」と喜びを噛みしめていた。



第39回全農肉牛枝肉共励会

和牛、最優秀・優秀・優良賞に  
熊本県がランクイン!!

全国16道県から144頭の肉用牛が出品された「第39回全農肉牛枝肉共励会」。交雑牛の部では愛媛県の高月淳さんが、和牛の部では熊本県の藤原正博さんが各最優秀賞を受賞された。

第39回全農肉牛枝肉共励会 入賞牛一覧

〈第1部交雑牛の部〉

賞	種	導入産地	出品県	出品者名	出荷月齢	血統			枝肉重量(kg)	歩留基準値	規格	ロース芯面積(cm <sup>2</sup> )	バラの厚さ(cm)	BMS No.	枝肉単価(円)
						父	母の父	母の祖父							
最優秀賞	交雑	島根	愛媛	高月 淳	27	花国安福	—	—	558.4	71.0	B4	62	8.0	7	2,050
優秀賞1席	交雑	香川	香川	間島 真司	26	桜茂勝	—	—	577.6	71.9	B4	72	9.5	7	1,870
優良賞1席	交雑	北海道	岡山	(株)Original Quchi	25	松福久	—	—	528.8	72.6	A4	74	7.2	6	1,860

〈第2部和牛の部〉

賞	種	導入産地	出品県	出品者名	出荷月齢	血統			枝肉重量(kg)	歩留基準値	規格	ロース芯面積(cm <sup>2</sup> )	バラの厚さ(cm)	BMS No.	枝肉単価(円)
						父	母の父	母の祖父							
最優秀賞	和牛	長崎	熊本	藤原 正博	30	平茂晴	安福久	平茂勝	552.0	79.1	A5	91	8.6	12	4,129
優秀賞1席	和牛	熊本	熊本	(株)佐々畜産	29	芳之国	美津照重	安福久	571.8	78.0	A5	92	9.3	12	2,912
優秀賞2席	和牛	鹿児島	鹿児島	(有)畠久保牧場	31	幸紀雄	安福久	平茂勝	558.4	78.4	A5	94	8.7	12	2,782
優秀賞3席	和牛	鹿児島	佐賀	田中 政弘	30	幸紀雄	安福久	百合茂	524.6	80.4	A5	104	8.9	12	2,936
優良賞1席	和牛	熊本	熊本	(株)中林ファーム	29	幸紀雄	安福久	安糸福	538.2	78.0	A5	84	8.9	12	3,030
優良賞2席	和牛	鳥取	鳥取	(株)うしぶせファーム	28	百合白清2	安福久	平茂勝	537.0	77.7	A5	82	8.7	12	2,849
優良賞3席	和牛	香川	香川	間島 真司	28	幸紀雄	安福久	平茂勝	541.4	78.0	A5	89	9.1	12	2,901
優良賞4席	和牛	長野	長野	全農長野三岳牧場	28	美国桜	安福久	勝忠平	563.8	78.8	A5	91	9.0	12	3,018

交雑牛の部、最優秀賞は  
2年連続愛媛県

JA全農が主催する「全農肉牛枝肉共励会」は、肉用牛の肥育技術の確立と枝肉の肉質向上を目的に毎年開催されている。今年は、2月7日に第39回(第59回農林水産祭参加行事)を兼ねる)が大阪市中央卸売市場南港市場で実施され、交雑種51頭・和牛93頭の出品があった。

主催者を代表してJA全農畜産総合対策部の小林茂雄部長から、関係者の方々や出品者に向けて御礼が伝えられた。また、「肥育農家を取り巻く環境では、素牛価格と配合飼料価格の高止まりに加え、T P P 11、日欧E P Aに続き、1月には日米貿易協定が発効するなど、肥育農家経営は依然として予断を許さない状況です」とし「全農では、畜産事業において生産者・JAの皆さまの期待に応えるべく尽力してまいります」と挨拶があった。

第1部「交雑牛の部」には、7道県から雌17頭、去勢34頭の出品があり、厳正中立な審査の結果3頭が入賞を果たした。平均値は左記の通り。

- 枝肉重量(kg) 雌515.5/去勢546.2
  - ロース芯面積(cm<sup>2</sup>) 雌56.1/去勢58.6
  - バラの厚さ(cm) 雌7.5/去勢7.6
  - 皮下脂肪の厚さ(cm) 雌3.8/去勢3.0
- 前回と比較して大きな変動はないが、去勢のロース芯面積が2.8cm大きくなっている。

交雑牛の部で、見事最優秀賞を受賞したのは、